

# 筑西市 地震ハザードマップ 地域の危険度マップ

筑西市では、今後発生する可能性がある地震について市民の皆さんに关心と知識を持っていただき、日頃からの備えをしていただくことを考え、「地震ハザードマップ」を作成しました。

## 地域の危険度マップとは

「危険度マップ」とは、「揺れやすさマップ」に示されている想定地震の揺れの強さになった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表したもので、計算は、約50m四方の「メッシュ」単位で分割した区域内の建物の分布を参考にして建物被害の分布を相対的に示しています。危険度の数値が大きくなるほど被害は大きくなります。ご自宅の周辺や普段からよく行くところ、よく通るところなどについて、安全性を確認してみてください。

**地震ハザードマップに関するお問い合わせ先** 建築課 TEL:0308-0031 茨城県筑西市丙360 TEL:0296-20-1177 FAX:0296-20-1183

## 地震発生時の心構え／行動のポイント

経過時間	ポイント
地震発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まず、身を守る 机の下などへ。慌てて外へ飛び出さない。</li> <li>●すばやく火を消す 危険が伴うので無理はしない。</li> </ul>
発生1~2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●揺れが収まつたら火の始末 火が出ていたら初期消火。</li> <li>●難をはく 室内に散乱したガラスの破片などから足を守る。</li> </ul>
発生3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●隣近所の安全確認 火災の発生を防ぐ けが人・行方不明者の確認、救出・救護。</li> <li>●余震に注意 バケツリレーをする(風呂の水をためおきしておく)。</li> </ul>
発生5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラジオなどで正しい情報を入手 ラジオや市役所、自主防災組織の情報を聞く。避難をするときはガス栓をしめ、フレーカーを落とす。</li> <li>●電話はなるべく使わない 緊急連絡電話が優先。安否確認は「災害用伝言ダイヤル171」で。</li> </ul>
発生10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●協力して消火・救助活動 力を合わせて消火活動、救助・救護活動。</li> <li>●助け合いの心が大切 引き続き余震に注意</li> </ul>
発生数時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水・食料は蓄えているもので 3日分の飲料水と食料を備蓄しておく。</li> </ul>
発生3日くらい	筑西市では、県内市町村に先駆けて全国瞬時警報システムを導入しています。茨城県南部地域において震度5強以上の地震の発生が予想されたとき、震度5弱以上の地震が発生したとき、東海地震予知情報が発表されたときは、防災行政無線により市民のみなさまに地震情報をお伝えします。

## 地震発生時の留意点

### ◆地震発生時の行動について

火の始末をすばやく行いましょう。	正しい情報をラジオなどで聞きましょう。	戸を開けて出口を確保しましょう。
火を使ってるときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をじめましょう。出火した時は、落ちていて消火しましょう。	情報を収集し、落ちていて行動しましょう。	避難するための通路などを確保します。
あわてて外へ飛び出すのは危険です。	身の安全をはかります。	災害時要援護者を守りましょう。
外へ飛び出すと、ガラスの破片や瓦などが落ちてきます。堀が倒れてきたりと、思わぬケガをすることがあります。	机やテーブルの下、柱の多いところに身を寄せ、棚からの落下物やガラスに注意します。倒れやすいものから離れます。	お年寄り・障害者・乳幼児など、災害時に不自由になりやすい方を手助けしましょう。

### ◆避難時の留意点について

地震が発生した場合には、以下の留意事項に従って行動しましょう。

- 避難場所には徒歩で避難しましょう。
- 車やオートバイは使わないようにしましょう。
- 持ち物は最小限にしましょう。
- 看板や広告塔、ガラスの落下物に注意しましょう。
- 壁や塀、自動販売機には近寄らないようにしましょう。
- 車を運転している場合には、道路の端に車を停車させ、ラジオで正しい情報を聞き、安全が確認されるまで様子を見て適切な行動をとりましょう。避難するときは、鍵をつけたままにして必ず徒歩で避難しましょう。

### ◆消火器がない場合の火元別消火方法

電気製品	カーテン・ふすま	石油ストーブ
感電しないように、コンセントを抜いてから消火します。	天井に火が燃え広がる前に、水や消火器で消します。また、カーテンは引きちぎり、ふすまは倒して消火します。	上から一気に水をかけます。灯油がこぼれたら毛布で覆ってから水をかけます。
油なべ	衣類	風呂場(ガス式)
水をかけてはいけません。毛布や大きなタオルをぬらして、火の手前からなるべく全体にかぶせ、空気を遮断します。	転げまわって火を消します。髪の毛の場合は、頭からタオルなどの布をかぶります。	ガスの元栓を閉め、火の勢いが強くなないように扉を徐々に開けて消火します。

## 耐震診断について

### ◆住宅の耐震性について

一般に、地震が発生した場合の建築物の倒壊率は古い建築物ほど高くなります。木造住宅ではその傾向が特に目立ちます。古い耐震基準の時期(昭和56年以前)に建てられた家や、壁が少ない家などは耐震性が低くなっています。心当たりのある方は専門家による耐震診断を受けられることをお勧めしています。

### ◆木造の簡単な耐震自己診断の支援について

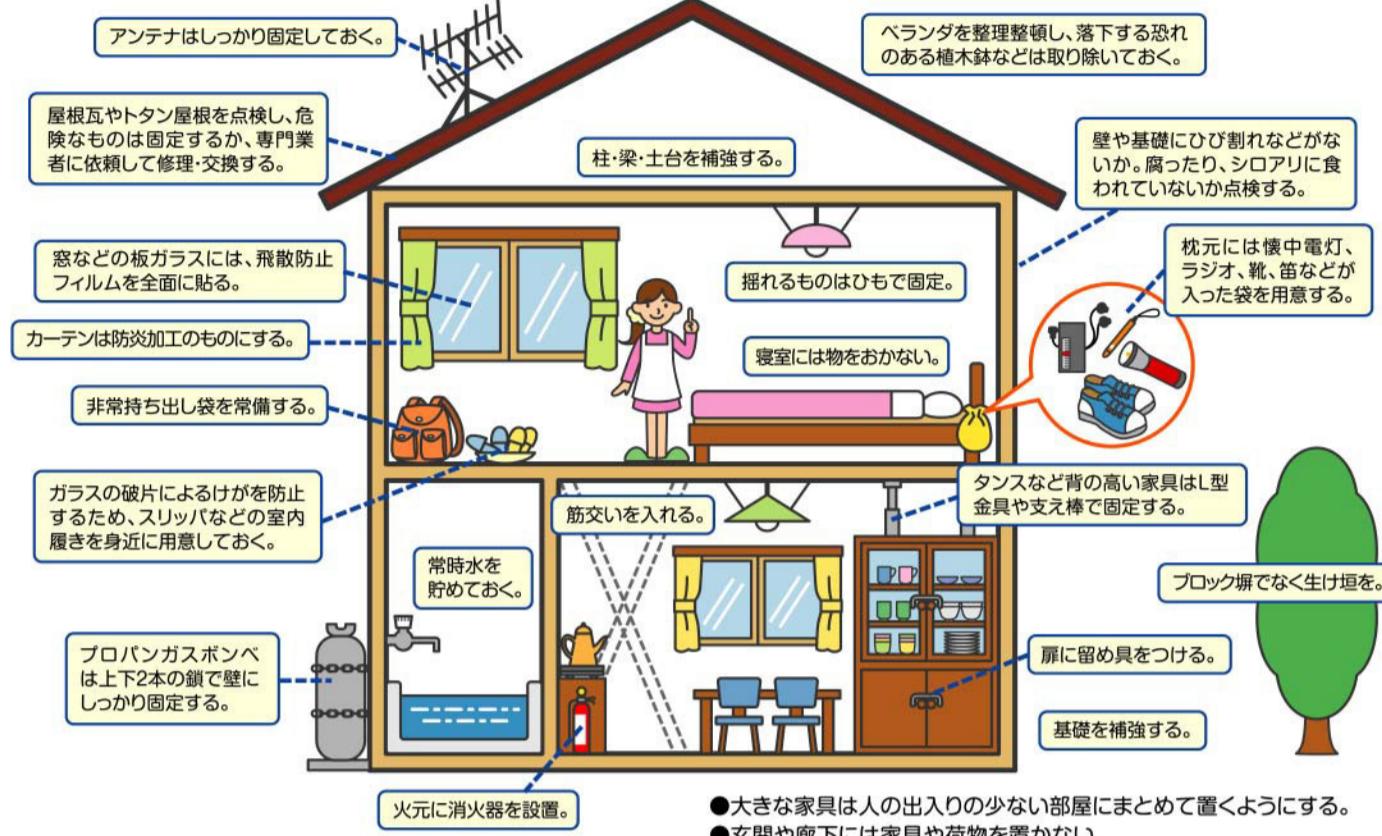
筑西市では、平成18年度より茨城県建築士会筑西支部と連携し、建物が安全かどうか専門家による現地予備調査を行い、相談会を開催し、簡単な耐震自己診断を支援してきました。引き続き、専門家による現地調査と相談会を実施し、住宅所有者の意識を啓発するとともに、耐震診断の自助努力を促していきます。

## 家具や家電の地震対策

### ◆家具や家電の地震対策も忘れずに

#### 家の内外の地震対策

地震対策は皆さん一人ひとりあるいは家族が協力して普段から備えておく必要があります。建物やそのまわりにあるものの、家の中の家具やガラスなど、地震に対する安全性についてチェックし、補強や配置換えなどを行っておきましょう。



#### 日ごろからの地震への備え

日ごろから近所の住民とのコミュニケーションを!

日ごろから、近隣との交流を深め、町内会行事へ参加して、顔見知りとなっておきましょう。



自主防災組織や地域の活動に参加を!

地域等で行われる防災訓練に、積極的に参加し、救助用の道具の使い方を体験しておきましょう。



家族で防災会議

避難場所を決め、災害時の連絡方法を確認しましょう。



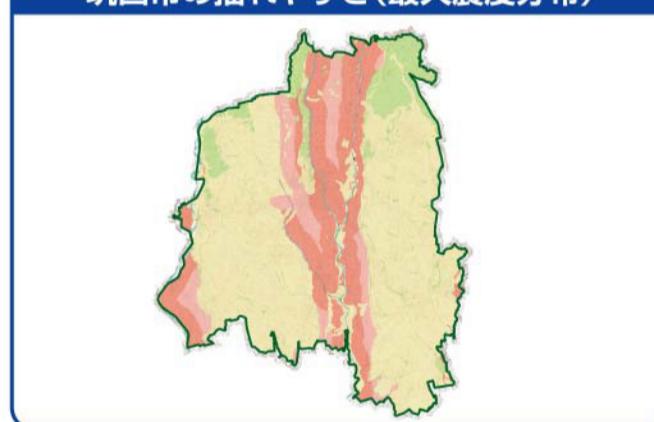
災害時要援護者を守る  
高齢者や、乳幼児、心身障がい者などの「災害時要援護者」と日ごろから声掛け合いましょう。



## 地域の危険度マップの作成手順

地域の危険度マップは、「揺れやすさマップ」の震度分布と構造別・建築年次別の建物の現況から各メッシュの震度に応じた建物全壊棟数率を算定し、その結果を適度に区分して、危険度を相対的に示す「建物被災危険度」として表示することにより作成しています。

### 筑西市の揺れやすさ(最大震度分布)



### 構造別・建築年次別建物データの作成

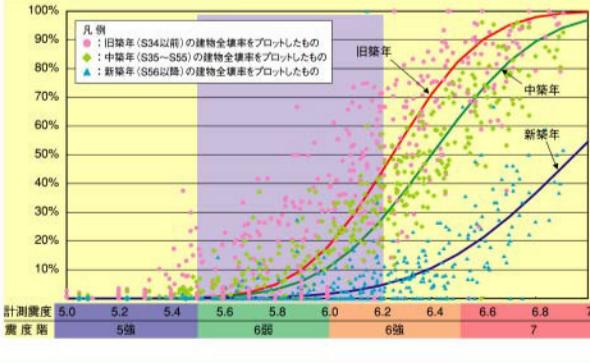
町丁目コード	町丁目	合計	木造建物			非木造建物				
			合計	S34以前	S55以前	S56以前	合計	S46以前	S55以前	S56以前
10010	A	200	160	50	70	40	40	15	20	5
10020	B	300	250	70	110	70	50	10	30	10
10030	C	150	140	40	60	40	40	5	20	5
10040	D	280	200	60	110	30	60	2	38	20
10050	E	550	450	50	350	50	100	20	40	40
10060	F	400	350	50	250	50	50	5	25	10
10070	G	320	260	60	150	50	60	5	35	20
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

\*建物データのイメージです。

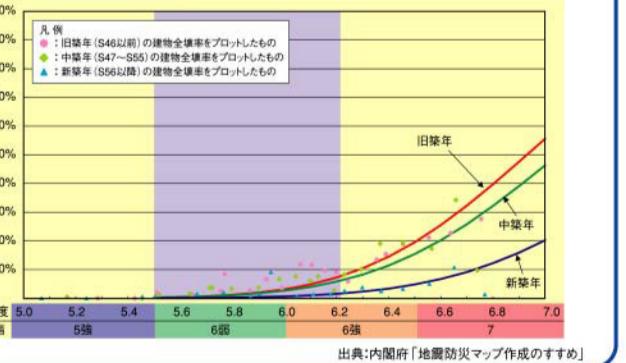
### 建物データと計測震度(揺れの大きさ)に応じた建物全壊率から建物全壊被害量を算定

#### 揺れの大きさと建物全壊率の関係

##### 木造建物



##### 非木造建物



### メッシュ別に建物全壊棟数率(メッシュ内の全建物のうち全壊する建物の場合)を算出

#### 筑西市の揺れによる建物危険度(建物全壊棟数率分布図)

